カリキュラム（開講科目一覧）

「ビジネス」「コミュニティ」「ライフ」をマネジメント3分野とした カリキュラム体系により、専門的な能力を養成します。

分野ごとのスクーリング授業を実施。テキスト学習で得た知識を現実のテーマに置き換え、対面形式で議論することによって立体的に学べます。学生一人ひとりの関心に基づき、各分野を超えて幅広く履修できる独自の教育カリキュラムです。

【基礎科目】と【専門科目】から分野を超えて自由に選択できます。

基礎科目
経営・会計・法律など、一般教養科目を学ぶことができます。それぞれの目的に合わせて自由に科目を選択できます。

専門科目

Market ビジネスマネジメント 科目群
医療・福祉・環境分野におけるビジネス動向と企業・組織の原理と構造を把握し、社会に貢献する企業組織の知識と技術を学びます。

Community コミュニティマネジメント 科目群
国内外の地域における医療・福祉・環境・経済の問題や仕組みについて理解を深め、コミュニティベースのマネジメントの知識と技術を学びます。

House hold ライフマネジメント 科目群
生活上の支援を必要とする人々のニーズを的確に把握し、これに応えるための福祉のマネジメントの知識と技術を学びます。

オンデマンド科目（e-learning）
インターネットにつながったパソコンを使って、画像や動画、音声などで構成された授業を受講し、確認テストや質疑応答を通じて学習します。小テストや科目修了試験も自宅で行います。

スクーリング単位として認定されます。

テキスト科目
テキスト教材を使った在宅学習授業。
インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。

スクーリング科目
全国各地で開催される対面式授業を受講します。科目修了試験（レポート形式）はインターネット上から後日提出する必要があります。
※地域によって開催される科目は異なります。

基礎科目

オンデマンド科目（e-learning）
- 必 **福祉経営序論（1）**
- 必 **スタートアップセッション（1）**
- 福祉社会入門（2）
- 実践英会話（2）
- インターネット演習Ⅰ（2）
- インターネット演習Ⅱ（2）
- 哲学（2）
- 法と人権（2）
- 居住福祉論（2）
- 子どもソーシャルワーク入門（2）
- 社 精 医学概論（2）
- 社 精 心 心理学（2）
- 社 精 社会学（2）
- 必選 社 精 **社会福祉原論（4）**
- 心 教育心理学概論（2）
- 心 発達心理学（2）

テキスト科目
- 民法（4）
- 日本史（4）
- 生物学（2）
- 死生学（2）
- 経済学（4）
- 労働法（4）
- 福祉文化論（2）
- 社 精 社会福祉調査論（2）
- 新1・2、全 学びの技法Ⅰ（文書の読解と作成）（2）
- 学びの技法Ⅱ（文書作成演習）（1）※3

スクーリング科目
- フォローアップセッションⅠ（効果的な学び）（1）
- フォローアップセッションⅡ（実践的な学び）（1）
- 必選 **ソーシャルワークと専門職（2）**

専門科目

ビジネスマネジメント科目群

オンデマンド科目（e-learning）
- 必選 **医療福祉ビジネス（2）**
- 福祉情報技術（2）
- A ファイナンシャルプラン作成（1）
- 必選 社 **福祉サービスの組織と経営（2）**
- キャリア開発（2）

社会福祉法人会計（4）※1

テキスト科目
- 経営学（4）
- 簿記（2）
- マーケティング（4）
- 財務会計（4）
- 管理会計（2）
- 経営組織と戦略（4）
- ベンチャー経営（4）
- 人的資源管理（2）
- 医療経済学（2）
- 医療福祉経営論（4）
- 非営利マーケティング論（4）
- 必選 A **ファイナンシャルプランニング総論（1）**
- A 金融資産運用設計（2）
- A 不動産運用設計（2）
- A ライフプランニングと資金計画（2）
- A リスク管理と保険（2）
- A タックスプランニング（2）
- A 相続・事業承継設計（2）

スクーリング科目
- 日本企業の経営・会計（2）
- 社会福祉法人のマネジメントと会計（2）
- 福祉施設による運営・人材マネジメント論（2）（隔年開講：2027年度開講）
- ユニバーサルデザインと暮らし（2）
- 福祉とテクノロジー活用（2）
- 福祉マーケットと経営戦略（2）
- 医療福祉サービス組織の人材マネジメント（2）
- 実践事例から学ぶ社会福祉法人経営概論Ⅰ（2）
- 実践事例から学ぶ社会福祉法人経営概論Ⅱ（2）

コミュニティマネジメント科目群

オンデマンド科目（e-learning）
- 国際福祉開発（2）
- 福祉社会開発の支援ワーク（1）
- ふくしと減災コミュニティ（2）
- 社 精 地域福祉と包括的支援体制（4）
- 日本の中の多文化（2）
- スポーツマネジメント（2）
- 社 精 社会保障（4）
- 必選 社 精 **ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（4）**
- 社 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（4）
- 精 ソーシャルワークの理論と方法（精神）（4）
- 社 精 権利擁護と成年後見（2）
- 社 精 刑事司法と福祉（2）
- 社 保健医療と福祉（2）
- 精 精神保健福祉制度論（2）
- 精 精神保健福祉の原理（4）
- 社 公的扶助（2）
- 地域活動実践論（1）
- 看 在宅における看護とケア（1）
- 看 公衆衛生と看護（1）
- 看 地域における健康危機管理（1）

テキスト科目
- NPO論（4）
- 環境論（2）
- 災害復興のための制度と法（2）
- 精神医学からみたアディクション（2）
- 健康格差社会（2）
- 医療政策論（4）
- 必選 **医療・福祉サービス論（2）**

スクーリング科目
- 社会福祉政策国際比較（2）（2027年度休講）
- 社会福祉と権利擁護（2）
- 医療福祉システムの理論と実践（2）（隔年開講：2027年度休講）
- 医療福祉制度と暮らし（2）（隔年開講：2027年度開講）
- 社会保障の制度と課題（2）
- 単身世帯と社会政策（2）（2027年度休講）
- 障害者政策と自立支援（2）
- 多職種連携実践（IPW）と多職種連携教育（IPE）の展開（2）
- エンドオブライフとソーシャルワーク（2）
- 多様な地域生活課題への包括的支援と対応（2）
- 地域における包括的支援体制の構築と運用（2）
- 地域活動実践演習（1）
- 児童虐待と社会的養護Ⅰ（2）
- 児童虐待と社会的養護Ⅱ（2）
- 子どもの福祉と戦争（2）
- 国内フィールドワークⅠ（1）
- 国内フィールドワークⅡ（2）

ライフマネジメント科目群

オンデマンド科目（e-learning）
- ヒューマンケアのための多職種連携（2）
- 認知症の医療とケア（2）
- リハビリテーション医学（2）
- 発達障害および児童精神科領域の支援（2）
- 精神障害者支援論（2）
- アディクションとソーシャルワーク（2）
- アディクション領域における経験を有する援助者の支援論（2）
- スクールソーシャルワーク論（2）
- 必選 社 精 **ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ（2）**
- 社 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ（2）
- 社 精 障害者福祉（2）
- 社 高齢者福祉（2）
- 社 児童・家庭福祉（2）
- 精 精神障害リハビリテーション論（2）
- 看 医療・福祉サービスマネジメント（1）
- 看 看護実践における倫理的課題（1）
- 看 災害時の健康管理（1）
- 看 看護と介護福祉（1）
- 看 女性の健康と看護（2）
- 看 家族の健康と看護（2）
- 看 成人の健康とケアⅠ（1）
- 看 成人の健康とケアⅡ（1）
- 看 エンドオブライフケア（2）
- 看 メンタルヘルスと精神看護（1）
- 心 心理学研究法（2）
- 心 心理検査法（2）
- 心 知覚心理学（2）
- 心 認知心理学（2）
- 心 学校心理学（2）
- 心 発達臨床心理学（2）
- 心 福祉心理学（2）
- 心 臨床心理学（2）
- 心 司法・犯罪心理学（2）
- 心 教育相談（2）
- 心 社会心理学（2）
- 心 消費者心理学（2）
- 心 色彩心理学（2）

テキスト科目
- 心 高齢者の心理（2）
- 心 産業組織心理学（2）
- 精 精神医学と精神医療（4）
- 精 精神保健学（4）

心 心理学実験（4）※2
障害者スポーツ研究（2）※2

スクーリング科目
- 精神障碍者と福祉実践Ⅰ（2）
- 精神障碍者と福祉実践Ⅱ（2）
- ケアマネジメント入門（2）（隔年開講：2027年度休講）
- 認知症ケアと多職種連携（2）
- スクールソーシャルワークと学校現場（2）
- 司法と福祉の連携とソーシャルワーク（2）
- 要介護高齢者の参加と Well-being（2）
- 看護・福祉の実践報告・実践研究と倫理（2）
- 専門演習（2）

オンデマンド科目（e-learning）
- 看 文献研究法Ⅰ（2）

スクーリング科目
論文・レポート作成基礎Ⅰ（2）　論文・レポート作成基礎Ⅱ（2）　研究論文指導（4）　看 文献研究法Ⅱ（2）

必 必修科目　必選 選択必修科目　新1・2、全 新1・2年次入学生全員履修科目
社 社会福祉士資格指定科目　精 精神保健福祉士資格指定科目　心 認定心理士指定科目　A AFP認定研修指定科目　看 看護学士専門科目
●（　）内は各科目の単位数を表しています。　●諸事情により開講科目等が変更になる場合があります。

※1. テキスト教材とオンデマンド授業を併用する学習で、インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。単位の一部がスクーリング単位として認定されます。
※2. オンデマンド授業とスクーリング授業を併用する学習で、インターネット上からレポートを提出し、合格すると単位認定されます。
※3.「学びの技法Ⅱ（文書作成演習）」は、「学びの技法Ⅰ（文書の読解と作成）」の単位を修得した2年次以上が履修できます。

資格科目（演習・実習科目）

社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための科目です。実習科目は現場への配属実習が必要となります。また「テキスト学習」と「スクーリング学習」の 2 つの学習形態を通じて学びます。テキスト学習は課題レポート等を作成する記述式の学習方法です。科目によって講師の添削指導があります。

社 社会福祉士 演習・実習科目
- ソーシャルワーク演習Ⅰ（2）
- ソーシャルワーク演習Ⅱ（4）
- ソーシャルワーク演習Ⅲ（4）
- ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（2）
- ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（4）
- ソーシャルワーク実習（5）

※上記、実習科目の履修をご希望の場合は、社会福祉士実習履修者選抜に合格する必要があります。
※実務経験による「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」の免除が可能です。

精 精神保健福祉士 演習・実習科目
- ソーシャルワーク演習Ⅰ（精神）（2）
- ソーシャルワーク演習Ⅱ（精神）（6）
- ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）（2）
- ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（精神）（4）
- ソーシャルワーク実習（精神）（5）

※上記、実習科目の履修をご希望の場合は、精神保健福祉士実習履修者選抜に合格する必要があります。
※実務経験による「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ（精神）」「ソーシャルワーク実習（精神）」の免除が可能です。

※資格科目は卒業単位には含まれません。